

平成 29 年 6 月 30 日発行

三重大学 日本語学文学第 28 号 抜刷

アビラ・ヒロン『日本王国記』諸本と日本語の表記

— チンチョン報告書との比較を通して —

川 口 敦 子

アビラ・ヒロン『日本王国記』諸本と日本語の表記

ー チンチョン報告書との比較を通して ー

川 口 敦 子

1. チンチョン報告書と『日本王国記』

スペイン人商人ペルナルディーノ・デ・アビラ・ヒロンによる『日本王国記』には、スペイン語の本文中に多くの日本語が含まれる。土井忠生氏はその表記について、イエズス会とは異なる点に着目し、アビラ・ヒロンのローマ字綴りはかなり自由であり、スペイン語式の綴字を随時流用する便宜的方法を用いた、と述べる⁽¹⁾。

これに関連して、フランシスコ会イペロ・オリエンタル文書館⁽²⁾（以下「AFIO」）所蔵のフランシスコ会士ディエゴ・デ・チンチョンによる殉教報告書（AFIO 23-1、以下「チンチョン報告書」）の表記にも同様の特徴が見られることから、『日本王国記』の表記の特徴はアビラ・ヒロン個人に帰するものではない可能性が指摘された⁽³⁾。

チンチョン報告書には1613年の江戸と有馬の殉教報告が収録されている。これと同一内容のものが他資料にも見られ、『日本王国記』の記述とは一致する部分が多いが⁽⁴⁾、内容がすべて一致しているわけではない。日本語だけを見ても、チンチョン報告書にはない語句が『日本王国記』の該当箇所に見られている例もあり、アビラ・ヒロンがチンチョン報告書の日本語やその表記をそのまま引き写したかどうかはわからない。

後述するように、『日本王国記』の伝本には収録範囲の異なる第2輯と第3輯とがある。土井氏による『日本王国記』の日本語のローマ字表記の研究は、大航海時代叢書 XI の本文を利用しており⁽⁵⁾、結果的に、第2輯であるエスコリアル本とスペイン国立図書館（BNE）本の表記研究となっている。もちろん第2輯だけでも『日本王国記』の表記の傾向は把握できるが、その全貌を知るには、第3輯も併せて対象とすべきであろう。

そこで、本稿では、第3輯の写本 AFIO 26-3を中心に、BNE 本と比較しながら、チンチョン報告書の江戸の殉教報告（1r-35v。1614年3月14の日付と署名）に該当する箇所（第2輯の第13～14章、第3輯の第23～31章）の日本語のローマ字表記について検討する。そして、チンチョン報告書と『日本王国記』の表記の共通点を示すことで、イエズス会とは異なる、スペイン語系のキリシタン手稿類に共通の表記規範が存在する可能性を提示することを目的とする。

2. 『日本王国記』諸本について

チンチョン報告書と『日本王国記』の日本語の表記を比較するにあたって、まず『日本王国記』の諸本について確認する。『日本王国記』は少なくとも3回編纂されたことがわかっており（第1輯～第3輯）、複数の写本が存在する。Doroteo Schilling 師・Fidel de Lejarza 師⁽⁶⁾、岡本良知氏⁽⁷⁾、岩生成一氏・佐久間正氏⁽⁸⁾による書誌情報を基に、概要を以下に示す。【 】内に Schilling 師・Lejarza 師が用いた写本記号を示す。

・第1輯（1598年）…現存せず。

・第2輯…第1輯の増補・訂正。1615年3月18日までの記事を追加。

①エスコリアル本【E】…王立サン・ロレンソ・デ・エル・エスコリアル修道院図書館 Real Biblioteca del Monasterio de San Lorenzo de El Escorial⁽⁹⁾所蔵 O-III-19。

②ARSI本【J】…イエズス会ローマ文書館 Archivum Romanum Societatis Iesu 所蔵 Jap. Sin. 49. f. 149r-221 と Jap. Sin. 58. f. 167r-273r。第2輯が作られて間もなくマニラで書写され、ペドロ・モレホンが1616年にローマへ携行。欄外と行間にモレホンによる大量の注釈が書き込まれている。

③BNE本【M】…スペイン国立図書館 Biblioteca Nacional de España (Biblioteca Nacional de Madrid) 所蔵 Mss. 019628。エスコリアル本と同系統。

④Instituto de Jovellanos en Gijón本【G】…1883年発行の Julio Somoza de Montsoriu によるカタログでの言及以降、所在不明（消失か）。

・第3輯…第2輯に1619年3月15日までの記事を追加。第2輯の第1章の大部分と第2輯の第2章に相当する記事が存在しない。

①AFIO 26-3（旧Cajón 8 Legajo 5）【P】…AFIO（旧パストラーナ文書館）所蔵（フィリピンのサン・グレゴリオ管区文書館旧蔵）。アビラ・ヒロンの自筆原本と見なされていたこともあり、著者の字体に似てはいるが、同一ではない⁽¹⁰⁾。

②AFIO 26-4（旧Cajón 8 Legajo 4）【P I】…AFIO所蔵。

③AFIO 26-1（旧Cajón 8 Legajo 1）【P II】…同上。

④P. Lorenzo Pérez, O. F. M. 所蔵本【P III】…Pérez 師が1901年に書写。P I (AFIO 26-4) を書写して P (AFIO 26-3) を校合、1908年にエスコリアル本と校合。

2014年から2016年にかけて、筆者は上記写本のうちエスコリアル本、ARSI 本、BNE 本、AFIO 26-3、AFIO 26-4、AFIO 26-1の複製・撮影画像を収集し、状態を確認した。第2輯の ARSI 本は、早い時期の写本であることとモレホンの注釈とに価値があるが、複数の人の手で写されており、スペイン語で書かれた本文中の日本語の

表記にポルトガル語式の特徴が認められるので、その成立過程や表記規範については検討の必要があろう。第3輯の AFIO 26-3 は1丁と140丁が欠落しているが⁽¹¹⁾、AFIO 26-4 と AFIO 26-1 はこの欠落の該当箇所を空白にして飛ばして書き写しており、このことから、両写本は AFIO 26-3 の写しであると考えられる。

Schilling 師と Lejarza 師による校訂本⁽¹²⁾は、上記の諸本を成立や伝来、構成、読みやすさ等から勘案し、第3輯の AFIO 26-3 (旧 Caj. 8 Leg. 5) 【P】を底本として、第3輯にない箇所を第2輯の BNE 本【M】で補い、各写本を照合して校訂したものである。残念ながら、スペイン内戦の影響により第15章の半ばで刊行が中断され、未完となっている。

日本語の訳本として、佐久間正訳注・会田由訳・岩生成一注「アビラ・ヒロン 日本王国記」(大航海時代叢書 XI『アビラ・ヒロン日本王国記 ルイス・フロイス日欧文化比較』所収、岩波書店、1965)がある。前述の校訂本を底本として、第15章第2節以降は第2輯のエスコリアル本と BNE 本を用いているため、第2輯の記事の範囲で終わっている。日本語のローマ字表記は、校訂本では現代風に改められているため、エスコリアル本と BNE 本を校合して元の表記を示している。

大航海時代叢書 XI で割愛された第2輯以降の第3輯の記事については、以下の訳文がある。

- ・ J. L. アルバレス編・佐久間正訳「大阪城の包囲とその陥落 (一)」『英知大学論叢 サピエンチア』4、1970、pp. 67-89 (訳文は pp. 70-84)。…第3輯第47章～第48章の途中まで。訳文中の丁数から、底本は AFIO 26-3 と考えられる。
- ・ 佐久間正「アビラ・ヒロン日本王国記 (七)」『清泉女子大学紀要』20、1972、pp. 34-35。…第48章の一部 (補完)。
- ・ 佐久間正「ベルナルディーノ・デ・アビラ・ヒロンの日本王国記 (四)」『清泉女子大学紀要』16、1968、pp. 87-114。…第48章の途中～第50章。訳文中の丁数から、底本は AFIO26-4 と考えられる (以下同じ)。
- ・ 佐久間正「ベルナルディーノ・デ・アビラ・ヒロンの日本王国記 (五)」『清泉女子大学紀要』17、1969、pp. 72-86。…第51章～第57章。
- ・ 佐久間正「ベルナルディーノ・デ・アビラ・ヒロンの日本記 六」『清泉女子大学紀要』18、1970、pp. 37-47。…第58章～第59章 (完結)。

なお、第2輯と第3輯は章節番号の付け方が異なっており、校訂本・訳本・各写本の間における章節番号の関係はやや複雑である。今後の研究の便宜のため、その対応関係を整理したものを【表1】として示す。

【表1】『日本王国記』諸本と訳本における章節

訳本の章節	第2輯				第3輯			
	エスコリアアル本 (O-III-19)		BNE 本 (Mss. 019628)		ARSI 本 (Iap. Sin. 49, 58)		AFIO 26-3 ほぼ章番号なし	
	章節	丁数	章節	丁数	章節	丁数	AFIO 26-4 章 Capitulo	AFIO 26-1 章 Capitulo
大船海時代 叢書XI 店 (岩波書店 1965)	前書き	—	—	—	—	—	—	—
	第1章	Cap. 1.	2r01- 2r16-5v21	2r03- 2r20-6r16	c. 1.o	149v01- 149v14- 151v26	—	—
	第1節 ～第10節	\$1-10	\$1-10	6r17-	\$1-\$10	151v27-	—	—
	第2章	Cap. 2.	33v07-	39r19-	Cap. 2.	165r10-	—	—
	第3章	Cap.o 3	37v16-	capit. 3	Cap. 3.	169r03-	II	II
	第4章	Cap.o 4	42r03-	cap. 4	Cap. 4	172v21-	III	III
	第1節	1	47r05-	\$1	56v07-	\$1	IV	IV
	第2節	2	51r16-	\$2	62r07-	\$2	V	V
	第3節	3	53r09-	\$3	64r10-	\$3	VI	VI
	第4節	4	55r13-	なし?	66r22-	\$4	VII	VII
	第5節	5	56r16-	\$5	67v02-	\$5	VIII	VIII
	第6節	6	58r14-	\$6	69r25-	\$6	IX	IX
第5章	Cap.o 5	61v23-	Cap. 5	74r21-	cap. 5	191r18-	X	X
第1節	Cap.o 1	67r20-	1	81r24-	なし	196v01-	XI	XI
第2節	Cap.o 2	69v08-	2	84r21-	\$2	198v09-	XII	XII
第3節	Cap.o 3	76r01-	\$3	91r03-	\$3	204r04-	XIII	XIII
第4節	Cap.o 3 (マ)	81v01-	\$3 (マ)	96v27-	\$3 (丁4に訂正)	209v09-	XIV	XIV
第6章	Cap.o 7	84v03-	cap. 7.o	100r11-	Capit.o 7.o	213r06-	XV	XV
第7章	Cap.o 8	87v22-	capit.o 8	104v18-	capit.o 8	49, 217v04- 221v; 58, 167r-171v	XVI	XVI
第8章	Cap.o 1	95v21-	\$1	113v13-	\$1	58, 172r01-	XVII	XVII
第9章	Cap.o 9	103v04-	capit.o 9	121r19-	cap. 9	179r01-	XVIII	XVIII
第10章	Cap.o 10	106v21-	capitulo X	125v01-	Capit.o X	182r12-	XIX	XIX
第11章	capitulo 11	113v07-	capitulo 11	135v07-	capit.o 11	189v03-	XX	XX
第12章	Cap.o 12	118r01-	capitulo 12	142v01-	cap. 12	193v19-	XXI	XXI
						74v12-	XXII	XXII
							120r05-	40r01-

第13章	Cap. 13.	119v14-	capit.u.o 13	145r04-	Cap. 13	195r03-	76v01-	XXIII	121v07-	XXIII	121v07-	XXIII	40v30-
第1節	1	121v13-	capit.u.o \$1	147v08-	\$1	196r20-	78r22-	XXIV	123v01-	XXIV	123v01-	XXIV	42r01-
第2節	\$2	125v02-	cap.o \$2	153r04-	\$2	198r12-	81r13-	XXV	126v14-	XXV	126v14-	XXV	43v28-
第3節	\$3	128v27-	capit.u.o \$3	158v03-	\$3	200r20-	85r01-	XXVI	130r01-	XXVI	130r01-	XXVI	45v15-
第4節	\$4	133v21-	capit.u.o \$4	164v22-	\$4	203v01-	89r13-	XXVII	134r02-	XXVII	134r02-	XXVII	48r08-
第5節	\$5	137r23-	\$5	169r16-	\$5	205v22-	92r17-	XXVIII	137r03-	XXVIII	137r03-	XXVIII	49v32-
第14章	Capit 14	143r04-	「capit.o」のみ	176r18-	cap. 14	208r28-	97r01-	XXIX	141v01-	XXIX	141v01-	XXIX	52v04-
第1節	\$1	146v15-	\$1	180r13-	\$1	211r12-	100r01-	XXX	144r16-	XXX	144r16-	XXX	54v21-
第2節	\$2	152v14-	\$2	186v10-	\$2	215r29-	104v03-	XXXI	148v13-	XXXI	148v13-	XXXI	56v31-
第15章	Capitulo 15	160r22-	capit 15	194v01-	cap. 15	220r01-	110r05-	XXXII	154r01-	XXXII	154r01-	XXXII	59v29-
第1節	1	167v11-	\$1	203v20-	\$1	225r12-	117r17-	XXXIII	160r17-	XXXIII	160r17-	XXXIII	63v01-
第16章	なし	171r01-	なし	209r09-	なし	227v12-	120v10-	XXXIV	162v14-	XXXIV	162v14-	XXXIV	65v04-
第17章	なし	172v05-	なし	211r15-	なし	228v28-	122r13-	XXXV	165r22-	XXXV	165r22-	XXXV	66v03-
第18章	1	174v18-	\$1	214r01-	\$1	230v26-	「Cap. 17」 124v15-	XXXVI	168r01-	XXXVI	168r01-	XXXVI	68r01-
第2節	2	179r21-	\$2	219r10-	\$2	234r14-	128v14-	XXXVII	171v11-	XXXVII	171v11-	XXXVII	70r29-
第3節	Cap.o 3	182v17-	\$3	222v11-	\$3	237r04-	133r17-「\$2」	XXXVIII	175v17-	XXXVIII	175v17-	XXXVIII	73r01-
第4節	Cap.o 4	183v18- 189v19	\$4	223v18- 230v15	\$4	237v24- 242r18	「Capit.o 17」 134r13-139v	XXXIX	176v13- 181v13	XXXIX	176v13- 181v13	XXXIX	73v06- 76v33
第19章	なし	189v19-20 189v21-191r	なし	230v15-16 230v17-232r	なし	242r18-19 242r20-243r	(f. 140欠落)	(空白) 182r 欄外に「Cap.」	181v14- 182v09	(空白)	181v14- 182v09	(空白)	76v34-77r
第20章	なし	191r-	なし	232r-	なし	243r-	141r01-	(第39章相当)	182v10-	(第39章相当)	182v10-	(第39章相当)	77v01-
第21章	なし	196r20-	なし	237v07-	なし	246r12-	145r15-	XL	186v04-	XL	186v04-	XL	80r06-
第22章	なし	202v09-	なし	243v04-	なし	248v31-	153v10-	XLI	194r20-	XLI	194r20-	XLI	84v09-
第23章	なし	207v19-	なし	249r21-	なし	251v15-	158r04-	XLIJ	198r10-	XLIJ	198r10-	XLIJ	87r05-
第1節	なし	210r22-	なし	252v01-	なし	253r15-	160v01-	XLIJII	200r17-	XLIJII	200r17-	XLIJII	88r31-
第2節	なし	213v07-	なし	256r13-	なし	255r13-	163r08-	XLIIV	202v15-	XLIIV	202v15-	XLIIV	89v29-
第3節	なし	215v16-	なし	258v16-	なし	257v01-	165r04-	XLV	204v06-	XLV	204v06-	XLV	91r02-
第4節	なし	225r20- 229r	なし	271r11-	なし	288r01-273r	174r19-	XLVI	211v23-	XLVI	211v23-	XLVI	95v08-
アルバレス・ 佐久間1970	第47～48章の 途中	177v16- 192v11	177v16- 192v11	177v16- 192v11	177v16- 192v11	177v16- 192v11	177v16- 192v11	XLVII-	215r01-	XLVII-	215r01-	XLVII-	97v01-
佐久間1972	第48章の一部	192v12- 193r11	192v12- 193r11	192v12- 193r11	192v12- 193r11	192v12- 193r11	192v12- 193r11	XLVIII	228v08-	XLVIII	228v08-	XLVIII	105v24-
佐久間1968	第48章の途中 ～第50章	193r12- 214r07	193r12- 214r07	193r12- 214r07	193r12- 214r07	193r12- 214r07	193r12- 214r07	XLIX - L	229r03	XLIX - L	229r03	XLIX - L	106v06
佐久間1969, 1970	第51～57、58 ～59章	214r08-233v (+目次)	214r08-233v (+目次)	214r08-233v (+目次)	214r08-233v (+目次)	214r08-233v (+目次)	214r08-233v (+目次)	LI - LIX	229r04- 249v18	LI - LIX	229r04- 249v18	LI - LIX	106r07- 118v30
									249v19-270v 目次：271r- 275v		249v19-270v 目次：271r- 275v		118v31- 131v

3. チンチョン報告書と『日本王国記』の表記の共通点

チンチョン報告書には、日本文字による文章とそれに対応するローマ字書きの文章が2箇所存在する (AFIO 23-1, 15v09-24, 18r01-13)⁽¹³⁾。『日本王国記』AFIO 26-3 および BNE 本の該当箇所をこれと比較すると、gofattouo「御法度を」(AFIO 26-3 : gofatouo BNE : gofatobo)、cacunō gotocu「如此」(AFIO 26-3 : cacunongotocu BNE : cacunongo Tocu) のような細かな違いはあるが、概ね似た表記法と言って良いだろう。

イエズス会の表記規範と異なる特徴は、tzu・tz である。『日葡辞書』⁽¹⁴⁾では「Tçucamatçuri」(仕り)、「Xichiguat」(七月)、「Issat」(一札)、「Futçuca」(二日)のように tçu や t 入声で表記される箇所が、tzu・tz で表記されている(表2)。

【表2】tz・tzuの表記

	チンチョン報告書	AFIO 26-3	BNE 本
仕り	tzu amatzuri	tzucamatzuri	
七月一日	xichinguachi ychinichi	xichinguatz ichi nichí	xichun guatzichinichy
一札を	isatzuuo		Ysatzuuo
七月二日	xichinguachi futzuca	Xichinguatz futzca	

上記の日本文字に対応する箇所以外の、スペイン語文中に現れる日本語について、AFIO 26-3 と BNE 本の表記を【表3】として示す。版本と異なって手稿類では大文字と小文字の区別は判然としないことも多いが、明らかに大文字で書かれていると判断できる文字は、大文字で示す。

BNE 本は表記にばらつきが多く、また、オ = Vo を Bo と表記する(「組の親」)ような、スペイン語に由来する誤記と考えられる箇所もある。AFIO 26-3 ではほとんどの語が大文字で始まるのに対し、BNE 本にはその区別があるようには見えず、中には語中に大文字が使われる例も見受けられる。AFIO 26-3 では頭文字で日本語の語彙を区別する意識があると考えられるのに対して、BNE 本にはその意識はほぼないと見て良いだろう。

AFIO 26-3 の表記のうち、誤記の可能性が高いものを除いて、gua = ワ、ja = シャ、jo = ショ、tha = タ、the = テ、tho = ト、tzu・tz = ツ、za = サ、zu = ス等は、土井氏がイエズス会の規範とは異なる表記として指摘したものである。

【表3】『日本王国記』第13～14章の日本語

日本語（括弧内は用例数）	AFIO 26-3（括弧内は内訳数）	BNE 本（括弧内は内訳数）
阿弥陀 (1)	amida	amida
浅草 (10)	Asacusa (9), Asaqusa (1)	asacusa (2), asacussa (6), Asacussa (1), asaqusa (1)
愛宕 (1)	Atango	aTango
有馬 (3)	Arima	arima
有馬殿 (5)	Arimandono	ariman dono, arimandono
諫早 (1)	Yzafay	YZafay
板倉（ラウレンシオ） (15)	Itacura (11), Jtacura (4)	ytacura (1), Itacura (11), Jtacura (3)
市蔵（ジャコベ） (1)	Ichizo	Ichizo
稲葉十兵衛殿 (1)	onabia Jubion dono	onabia Jubion dono
牛込 (2)	Vxingome	Vxingome
上様 (4)	Vye Sama (2), Vye sama (2)	uye sama (1), Vye Sama (1), Vye sama (1), VYE ssama (1)
浦賀 (1)	Vrangaua	uran Gaua
江戸 (21)	Yendo (20), Yêdo (1)	yendo (12), Yendo (9)
乙名（単・複） (7)	otona (2), Otona (1), otonas (4)	otona (3), otonas (4)
大坂 (2)	Ozaca (1), Vzaca (1)	ozaca (1), VZaca (1)
親の組 (2)	oyanocumi (1), Oyano cumi (1)	oya nocumi (1), Oyano cumi (1)
織部殿 (1)	olibet dono	olibet dono
上野殿 (1)	Conzuquendono	conzuquen Dono
高野 (1)	Coya	coya
忝なうござる (2)	cataxique nongozar (1), cataxiqui nongozaru (1)	cataxiquenon GoZar (1), cataxiqui nongoZaru (1)
刀 (4)	catana (2), Catana (1), Catanas (1)	caTana (3), catana (1)
帷子 (1)	catabira	catauira
片目（ルカス） (2)	Catame	catame (1), caTame (1)
神 (4)	Cami (1), camis (2), Camis (1)	camí (1), camis (3)
神田（トメ） (3)	Canda (2), Candano (1)	canda (1), Canda (1), candano (1)
勘兵衛殿 (1)	Cambioyendono	cambioyendono
喜左衛門（マルコス） (1)	Quisayemon	Quisayemon
紀の国 (1)	Quino cunin	quinocunin
着物 (1)	quimones	quimones
清田（シモン） (1)	Quionda	quionda
公事 (2)	qunji (1), Qunxi (1)	qumji (1), qunxi (1)
久助（マルコス） (1)	Cusque	Cusque
組 (4)	Cumi (2), Cumy (1), cumy (1)	cumi (3), cumy (1)
組の親 (3)	Cumino Voya (1), cumino oya (1), Cumino oyas (1)	Cumino Boya (1), cumino oya (1), cumino oyas (1)
源内（ジョアキン） (1)	Guenay	Guenay
源左衛門（ジョアキン） (1)	Guenzaymon	GuenZaymon
弘法大師 (1)	cobodaxi	com Bodaxi
五右衛門（トメ） (1)	Goyemon	Goyemon
ゴ兵衛（グレゴリオ） (3)	Gofeoye	gofeoYe (1), Gofeoye (1), Go feo Ye (1)
転んだ（者） (2)	Corondas (1), corondas (1)	corondas
盃 (2)	Zacantzuqui	Zacantzuqui (1), ZaCanZuqui (1)
作内（レオン） (1)	Sacunay	sacunay
笹田（ミゲル） (14)	Sasanda (13), Sasâda (1)	sasanda (7), Sasanda (6), sanda (1)
笹田殿 (1)	Sasandan dono	sasandan dono
座敷 (5)	Zaxiqui	zaxiqui (3), Zaxiqui (2)
佐渡殿 (5)	Sandon dono	San Don dono (2), Sandon dono (1), Sandon Dono (1), san Don dono (1)

左兵衛 (2)	Zafioye	Zafioye (1), ZafioYe (1)
侍 (単・複) (12)	Zamuray (5), Zamurays (7)	Zamuray (5), Zamurays (7)
七月 (2)	xichinguatz	xichinguatz (1), xichunguatz (1)
將軍 (1)	Jongun	Jongum
將軍様 (8)	Jongum Sama (3), Jongum sama (2), Jongun Sama (3)	Jongum sama (4), Jongum Sama (1), Jongun sama (2), JonGun sama (1)
釈迦 (1)	Jaca	Jaca
出家 (1)	xuque	xuque
新五郎 (マティアス) (1)	Xingoro	Xingoro
身上 (1)	Jinxo	Jinxo
駿河 (1)	Zurunga	ZurunGa
銭 (1)	Jeni	Jeni
詮索 (1)	xenxaqu	xenxaqu
惣助 (ダミアン) (1)	Sousque	Sousque
ソクアン (2)	Soquan	Soquam
太閤様 (2)	Taico Sama (1), Thaico Sama (1)	Tayco sama (1), Taycossama (1)
大八 (ドン・パウロ) (7)	Day fachi (6), day fachi (1)	day fachi (5), Day fachi (2)
内府 (2)	Dayfu	Day fu (1), dayfu (1)
大名 (単・複) (3)	daymio (1), daymios (2)	daymio (2), day mios (1)
畳 (1)	tatamis	TaTamis
長兵衛 (1)	Chobioye	chobioye
寺 (単・複) (26)	Thera (18), Tera (3), Theras (4), Teras (1)	Thera (15), Tera (4), tera (3), Teras (2), Theras (1) hTeras (1)
天下 (1)	Tenca	Tenca
同宿 (グレゴリオ) (5)	Doxinga (2), doxucu (2), doxuqu (1)	dexucu (2), doxuqu (1), doxinga (1), DoxinGa (1)
トシュウト (ジョアン) (1)	Toxuto	Toxuto
殿 (単・複) (23)	Tono (16), Thono (3), Tonos (4)	Tono (11), tono (8), Tonos (4)
鳥越 (2)	Atoricoy (1), Toricoy (1)	atoricoy (1), Toricoy (1)
長崎 (2)	Nangazaqui	nangazaqui (1), nanGaZaqui (1)
南蛮 (1)	namban	namBan
乗物 (2)	norimono	norimono (1), morimono (1)
ハチクワン (ジョアキン) (18)	fachiquan (14), Fachiquan (2), Fachiquam (1), fachiquã (1)	fachiquan (11), fachi quan (1), fachiquan (1), fachiquam (3), Fachi quam (1), facHi quam (1)
八丈の島 (1)	Fachixono Xima	(なし)
半三郎 (アントニオ) (1)	Fuanzambro	fuan Zambro
幡随意 (1)	Banzuy	Banzuy
彦左衛門 (シモン) (1)	Fico Sayemon	fico sayemon
肥前 (1)	Fixem	fixem
兵四郎殿 (1)	fioxiron dono	fioxirondono
兵衛 (ビセンテ) (1)	feyoye	feyoye
奉行 (単・複) (43)	Bunguio (19), bunguio (2), Bunguios (22)	Bunguio (9), bunguio (9), BunGuio (2), Buguio (1), buguio (1), Bunguios (12), bunguios (7), BunGuios (1), bunGuios (1)
伏見 (2)	fluxime	fluxime
仏法 (11)	bupo (6), Bupo (3), buppo (1), Bupu (1)	Bupo (2), bupo (2), Buppo (2), buppo (1), Bupu (2), bupu (1), Buppu (1)
古田山城殿 (1)	Furta Yamaxirondono	Furta Yamaxirondono
振舞 (1)	furmay	furmay
豊後 (1)	Bungo	bungo
坊主 (単・複) (19)	bonzo (9), Bonzo (3), Bōzo (1), bonzos (5), Bonzos (1)	Bonozo (11), Bonso (1), bnzo (1), Bonzos (2), bonzos (2), Bonsos (2)
絆 (5)	fondaxi (3), fondaxis (2)	fondaxi (3), fonzaxis (1), fondajis (1)

仏 (単・複) (8)	fotoque (1), fotoques (7)	fotoque (1), fotoques (6), foToques (1)
盆 (1)	Bon	Bon
負けた負けた (1)	maqueta maqueta	maqueta maqueta
孫兵衛 (バウロ) (4)	Mangobioye (3), Mangobeoye (1)	mango Bio Ye (1), mango Bioye (1), mangobioYe (1), Man Go Beo Ye (1)
町 (単・複) (10)	machi (9), miachis (1)	machi (9), machis (1)
未木 (ジョアン) (42)	Mybocu (39), Mibocu (3)	miBocu (11), mibocu (7), Mibocu (6), MiBocu (4), Mybocu (2), minbocu (3), minBocu (3), Minbocu (2), mimbocu (1), Mimboqu (1), Myncubu (1), Micobu (1)
土産 (1)	Meangue	meangue
都 (14)	Meaco	meaco (13), Meaco (1)
無理に (1)	murini	murini
門前の (ジョアン) (2)	Monjeno (1), Monxeno (1)	monje no
屋形 (1)	Yacatha	YacaTa
弥蔵 (ミゲル) (1)	Yanzo	YanZo
弥兵衛 (アントニオ) (1)	Yayefeoye	Yaye feoye
山城殿 (8)	Yamaxiron dono (5), Yamaxirondono (3)	Yamaxiron dono (2), Yamaxirondono (2), yamaxiron dono (2), yamaxirondono (1), iama Xiron dono (1)
横目 (1)	Yucume	yucume
与四郎 (ディエゴ) (1)	Yoxiro	Yoxiro
夜話 (1)	Yobanaxi	Yo Banaxi
和歌山 (1)	Guaca Yama	Guaca Yama

イエズス会とは異なる特徴的な表記のうち、チンチョン報告書に見られる、

Guaca Yama (「和歌山」 10r16)

Jaca (「釈迦」 11r23)

Jongum Sama (「將軍様」 7v03 他)

Thera (「寺」 1v24 他)

Thono (「殿」 10r17 他)

Xichinguatz (「七月」 25v25)

Zamuray (「侍」 12v03 他)

Zacantzquiqui (「盃」 21r07 他)

Zurunga (「駿河」 13r23)

の語は、AFIO 26-3 でも同一の表記である。

AFIO 26-3 では、ワに相当する gua はグワ (「七月」 xichinguatz)、サに相当する za はザ (「座敷」 Zaxiqui) にも使われており、むしろそのほうがイエズス会では規範とされる表記法である。日本語の異なる音節に対して同じ表記が用いられているのは、当時のスペイン語の発音や表記法の影響によると考えられるが、それについては稿を改めて述べたい。

本稿での調査対象はその一部にとどまるが、『日本王国記』の第2輯だけではなく、第3輯にもイエズス会の規範とは異なる表記が使われており、それがチンチョン報告書の表記と共通する特徴を持つことが確認できた。

『日本王国記』の表記はアビラ・ヒロン独自のものとは言い難いものの、本文および語句の異同の具合を見る限り、チンチョン報告書の表記をそのまま完全に受け継いだものとも考えにくい。それでも両者には共通する特徴があり、それは土井氏が指摘したように、イエズス会式の表記とは異なるものである。チンチョン報告書と『日本

王国記』に共通するのは、イエズス会に所属しない人物（フランシスコ会士、商人）によってスペイン語で書かれた手稿類だということである。したがって、『日本王国記』に見られるイエズス会の規範とは異なる表記法は、個人的なものというよりも、スペイン語系かつ非イエズス会系のキリシタン手稿類に広く共通するものである可能性を考えるのが妥当であろう。

果たして、他のスペイン語系のキリシタン手稿類にも同様の特徴が認められるのかどうか、またそこから立ち返って、イエズス会の版本および手稿類の表記規範をどのように解釈するべきか、それが今後の課題となろう。

【注】

- (1) 土井忠生「アビラ・ヒロン『日本王国記』の日本語」『吉利支丹論攷』（三省堂、1982）pp. 275-297.
- (2) Archivo Franciscano Ibero-Oriental. 在マドリード。
- (3) 川口敦子「フランシスコ会イベロ・オリエンタル文書館所蔵ディエゴ・デ・チンチョン報告書の日本文字とローマ字書き日本語」『三重大大学日本語学文学』27、2016、pp. 1-11（左）。
- (4) ロレンソ・ベレス著・野間一正訳『ベアト・ルイス・ソテロ伝―慶長遣欧使節のいきさつ』（東海大学出版会、1968）p. 247（註23）。
- (5) 土井前掲論文 pp. 275-276。
- (6) Doroteo Schilling OFM. & Fidel de Lejarza, “Relación del Reino de Nippon por Bernardino de Avila Girón” (Introducción), *Archivo Ibero-Americano* vol. 36 (1933), pp. 481-531.
- (7) 岡本良知「ベルナルディーノ・デ・アビラの日本記に就いて」『歴史地理』83-1、1952、pp. 10-23。（復刻版：第一書房、1987）
- (8) 岩生成一・佐久間正「アビラ・ヒロン 日本王国記 解説」『アビラ・ヒロン日本王国記 ルイス・フロイス日欧文化比較』（岩波書店、1965）pp. 17-38。
- (9) BME と略称されることもあるが、スペイン国立図書館の略称（BNE）と混同しやすいので、本稿ではこの略称を避ける。
- (10) Schilling & Lejarza 前掲論文 p. 524、岡本前掲論文 p. 20。
- (11) 丁付けが「2」から始まることから、元々存在していた1丁が後に欠落したと判断される。
- (12) Doroteo Schilling OFM. & Fidel de Lejarza, “Relación del Reino de Nippon por Bernardino de Avila Girón”, *Archivo Ibero-Americano*, vol. 37 (1934), pp. 5-48, 259-275, 392-434, 493-554, vol. 38 (1935), pp. 103-130, 216-239, 384-417。なお、凡例および書誌情報は、注6参照のこと。
- (13) 川口前掲論文 pp. 2-3 参照。
- (14) 土井忠生・森田武・長南実訳編『邦訳日葡辞書』（岩波書店、1980）。

【付記】

本稿は、第6回外国資料研究会（2016年8月2日、愛知県立大学）、第5回キリシタン語学研究会（2016年8月22日、京都府立大学）、第6回キリシタン語学研究会（2017年3月22日、慶應義塾大学）での研究発表を整理し発展させたものである。

また、本稿は平成27-30年度科学研究費助成事業・基盤研究（C）（課題番号15K02564）および平成23-26年度科学研究費助成事業・若手（B）（課題番号23720228）による研究成果の一部である。

【かわぐち あつこ 本学教員】